

オンソリ山登山感想文 **カタクリの群生に魅せられて**

三島野スポーツクラブ M.R



↑ 登山道の脇で咲くカタクリの花

いつもの年よりも早い春の到来に、高岡のカタクリはとくにきれいな時期を終え、オンソリ山のカタクリはどうなんだろうと内心あきらめていました。山々の木々も芽吹き始め、少し早い新緑を楽しもうという気分で出発。それにしてもなんて青い空なのでしょう。このお天気に惹かれたのか駐車場はいっぱいでした。

登山口からしばらく歩くと急登にかかりましたが、まだ歩き始めの元気な時。気持ちよく歩

くことができました。しばらく登ると少しずつ可愛いカタクリの花が見えてきました。

まだ閉じているものもあります。良かった、終わってはいなかった、と嬉しくなってきました。

リーダーから「カタクリの花は暖かくなならないと開かないので、出発を8時と少し遅らせました。」と説明を受けました。よく見ると、もう花の時期を終え果実をつけているものもあり、日の当たるこの時間から開くのかと納得しました。いっぱい広がるカタクリの花に感動してカメラを向けていると、「まだここより沢山咲いているところがこの先にありますよ。」と再びリーダーの声。更に登ると、本当に一面の紅紫の群生。初めての光景で、ただただ感動しました。

かつては片栗粉を球根から取っていたので、球根で増えるかと思っていたら種子で増えるとのこと。発芽から花が咲くまでに7~8年かかるとのこと、これだけの群落を形成するまでにはどれだけの年月がかかったのだろうと思いました。本当に見渡す限りのお花畑だったのです。

たった一輪の白いカタクリもありました。

写真を撮りまくった後は、またまた急登です。白山がきれいに見えてきました。

888.6mのオンソリ山ですが随分高く感じました。途中の雪渓やタムシバの白、芽吹き始めた

木々の緑、イワウチワやショウジョウバカマのピンク、これから咲くだろう赤いつぼみを少し開いたシャクナゲ、マンサクの黄色、どれも青い空にきれいに映えて、楽しく歩きました。

ただ、おなかが空いて途中お菓子を食べたものの、お昼御飯がとても待ち遠しかったです。

オンソリ山を通り越し、笈山へ。山頂は狭かったのですが立山連峰とはまた違った孤高の山、白山が素敵でした。引き返してオンソリ山でようやく昼食。ほっと一息。

帰りは滑らないように慎重に歩きました。たくさんの登山者で道が少し荒れているように思いました。乾燥して土埃が立つほどでした。きれいに見えていた白山がだんだん見えなくなり、またカタクリの群生地にまで降りてきました。太陽の位置が変わり午前よりもさらに紅紫が輝いて美しく見えました。毎年会いたいなあと思う景色でした。

↓ 斜面一面に咲くカタクリの前で



救急救命講習会に参加を！

5月23日（日）午後2時から富山市婦中ふれあい館で救急救命講習会を開きます。内容はAED（自動体外式除細動器）の使用法、三角巾の使い方、熱中症対策についての講義と実技指導です。

学校や公民館などの公共施設では今やAEDはどこにでも設置されており、心臓細動が起きている人にAEDを使って適切な処置を施せば命を救うことができます。

使い方は音声で指示が出ますので冷静に落ち着いてやれば良いのですが、突然の出来事に気持ちが悪転していて上手く対応できるか不安があります。そんな時のために使い方の講習を受けておけば、いざという時に適切に対応できます。

また、三角巾は登山などのアウトドアスポーツで怪我をした時によく使う、応用範囲の広い救急用具ですので、三角巾の使い方をマスターしておくことはとても大切なことです。熱中症については、夏季の暑い時間帯では、登山にかぎらず、農作業など野外活動中の事故が身近なところでしばしば起きています。そんな時に適切な対応がなされないと命にかかわる重大事故なることもあります。熱中症対策

についての知識を身につけておくことは、自分のためでもあり、家族や仲間のためでもあります。ぜひ、この講習会に参加されるようお知らせします。連盟員でなくても参加できますので、家族の方や友人も誘って参加ください。

救急救命講習会実施要項

日 時：5月23日（日）午後2時～4時
場 所：富山市婦中町砂子田1-1
婦中ふれあい館 2F 小研修室2
内 容：AEDの使い方、三角巾を使った応急処置、
熱中症対応（予防と応急処置）

参加費 :無料

申込み方法：所属クラブの連盟理事に申し込むか、氏名・住所・電話番号を書いてハガキ下記まで申し込むか、電話で申し込みください。

〒939-0322 射水市上野465 荒井英治 TEL080-8695-6639

申込み締切り：5月14日（金）



編集雑記：2021東京オリンピックの実施・中止について

コロナの感染拡大が続くなかで、2021年東京オリンピックを実施するか、中止するか。「あなたはどう思いますか？」と聞かれると、答えに窮してしまう。

その理由はオリンピックに向けて精進してきたアスリートたちのことをおもうから。それがなければ、「当然中止でしょう。」となるのですが

コロナ救急医療現場従事者の大変な状況の報道をみると、とてもリスクが大きくて、「オリンピックどころではない」というのが正直な気持ちなのに、それをハッキリと言葉にして表明するのに躊躇してしまう。

この2021東京オリンピックを目標にしてきた現役トップアスリートからの正直な気持ち、本音の言葉が聞きたいな思う。聞こえてくるのは遠慮がちな口ごもったようなコメントばかり。一人の女性の日本人オリンピック長距離ランナーが、ある競技大会後のインタビューに「オリンピック実施に反対か賛成かと聞かれれば、一人の人間としては反対、一人の選手としては賛成」とキッパリとした口調で答えていたのには感心した。自分の本音をしっかりと、仲間のアスリートたちへの思いやりを込めながら発したその言葉は今も私の心に残っている。

主体性を持ち、自分の言葉をもった自立したアスリートがそこにいるなと強く印象づけられた。アスリートの一途さにどう対応していくか難しい。

ただ、この一大イベントの裏事情（いわゆる『お金・業界・政治』）のことをしっかりと認識したうえで判断することが大事だと思う。

スポーツ連盟とやまの行事予定

5月23日(日)	救急救命講習会
6月13日(日)	反核平和マラソン
11月21日(日)	交流ウォーキング
12月5日(日)午後2時から	第41期定期総会

各クラブの予定

富山ハイキングクラブ

5月2日(日)	小佐波御前山(芦生コース)
5月9日(日)	三千坊山(ツツジをめぐる)
5月15日(土)	総会
5月16日(日)	大鷲山
5月22日(土)	袴腰山
5月30日(日)	白鳥山
6月6日(日)	大乘悟山～笹津山(全国一斉クリーンハイク)
6月12日(土)	塔倉山
6月13日(日)	労山登山セミナー
6月20日(日)	二上山 夜間ハイク&ご来光

三島野スポーツクラブ

5月9日(日)	宝達山
5月15日(土)	中山(自主企画)
5月22日(土)	天蓋山
6月2日(水)	唐堀山
6月13日(日)	労山登山セミナー

富山ウォーキングクラブ

5月7日(金)	北陸道を歩く(津幡から倶利伽羅峠)
5月23日(日)	北陸道を歩く(小杉から下村道番(足洗)へ)

